

しが旅のススメ



信楽高原鉄道の
ホームページは
こちらから



甲賀市信楽町は日本六古窯にも数えられる焼き物の産地。鎌倉中期から今日までの長きにわたり、「信楽焼」の産地として陶器づくりが続けられてきました。山間部に位置するその信楽と麓の町を、小さな列車が結びます。JR草津線、そして近江鉄道との接続駅である貴生川駅（同市水口町虫生野）から信楽を結ぶ、延長14・7キロの第3セクター鉄道「信楽高原鉄道」です。

■ 信楽高原鉄道（甲賀市）

ローカル線で冬の信楽へ



雪の信楽を走る信楽高原鉄道の列車＝甲賀市信楽町で

光のお客さまを乗せ、山深いにも本格的な冬がやってきい急勾配を走ります。そのました。信楽町は降雪は少車窓では四季折々の草木が見られ、素朴で美しい自然寒さの厳しい地域です。列が人々の心を和ませてくれます。冬はそんな寒さをもととせすに、冬の澄んだ空気にした木々が墨絵のように重汽笛を響かせ、毎日休むことなく運行します。もちろ年の瀬を前に、信楽の町ん年末年始も、いつもと変



2025年巳年の干支切符＝信楽高原鉄道提供

わらない時間を走っていきつ乗客を、暖かな車内に向かえ入れ、心にほっと安らぎを与えます。ついウトウトと目をつぶると駅に到着して運転士さんに優しく起こしてもらうなんてことも。ゆったりとした時間を楽しみながら、24分間の鉄道の旅を楽しんでみませんか。



これまでの「しが旅のススメ」はこちら

【アクセス情報】信楽高原鉄道へはJR草津線か近江鉄道の貴生川駅から乗り換え。信楽駅へ車の場合は新名神高速道路信楽インターチェンジ（IC）から約10分。○信楽高原鉄道 0748（82）3391

どもの往復切符がセットになった「干支切符」を販売しています。陶人形は地元福祉施設で作られたもの。2025年の「巳」と鉄道の車両をあしらった手のひらサイズの置物です。鉄道の旅の記念にお一ついかがでしょうか。かわいい縁起物と共に、新しい年をお迎えください。

ローカル線ならではの魅力がたっぷりの信楽高原鉄道に乗って冬の信楽へ、どうぞお越しください。

（信楽町観光協会・松田晃余）